

緊急消防援助隊情報

令和6年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練の実施結果について

広域応援室・秋田県実行委員会

令和6年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練は、秋田県の地域特性を反映した災害を想定し、「開催地で発生が予測される災害対応」等をコンセプトに、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱に基づく要請・出動手順を検証し、活動技術の向上、自衛隊・海上保安庁・警察・DMAT等関係機関を含めた連携活動能力の向上及び応援体制の向上を図ることを目的とし、次のとおり実施しました。

1. 実施日

令和6年11月2日（土）・3日（日）

2. 実施場所

秋田市及び大仙市

3. 訓練想定

令和6年11月2日（土）8時30分、秋田県沿岸南部を震源とする内陸直下型地震が発生し、秋田県内で最大震度7を観測した。

この地震により秋田市及び近隣市町村では、建物倒壊、火災、交通事故、土砂災害、液状化、地盤沈降等により人的、物的ともに甚大な被害が発生した。

秋田県内消防機関は秋田県広域消防相互応援協定に基づき、県内応援隊を出動させたほか、秋田県知事は、被害が甚大であることから、秋田県内の消防力のみでは対応が困難と判断し、緊急消防援助隊の応援要請を行った。

4. 実施内容

(1) 消防応援活動調整本部等設置運営訓練

緊急消防援助隊の要請後、秋田県庁に消防応援活動調整本部を、被災地の秋田市消防本部に指揮本部及び指揮支援本部を、秋田県消防防災航空隊基地に航空指揮本部及び航空指揮支援本部を設置した。

初動では被害状況と自県の消防力を比較、分析し、緊急消防援助隊の応援要請に伴う情報収集や手順の確認を行い、早期に緊急消防援助隊の応援を要請するとともに、緊急消防援助隊の受入体制や部隊投入に係る調整を検証する図上訓練を実施した。

《今後の課題等》

- 消防応援活動調整本部内において、県災害対策本部と連絡調整に当たる職員が不足したため、災害の全体像や消防力の調整を要する被害情報の十分な共有が図れなかった。



消防応援活動調整本部設置運営訓練（2日）秋田県庁

(2) 参集訓練及び応援対応訓練

応援部隊は、自都道府県が定める応援等実施計画に基づき、被災地へ出動し、当該計画の実効性を確認した。

道路寸断等で陸路での進出が困難な場合を想定し、航空自衛隊及び海上自衛隊の協力の下、輸送機と輸送艦による空路及び海路での参集を行った。

また、被災地消防本部となる秋田市消防本部の指揮本部及び指揮支援本部は、応援部隊と出動途上から情報共有を図り、応援体制の検証を行った。

《今後の課題等》

- 今後も道路寸断等による陸路進出困難な状況を想定し、関係機関の航空機や船舶による消防車両等の輸送のため、積極的な搭載検証を行い、部隊輸送に係る関係機関との連携をこれまで以上に図る必要がある。



自衛隊輸送機による部隊進出訓練（1日）秋田空港



(3) 部隊運用訓練

統括指揮支援隊長の統制の下、地震に起因する土砂災害等を想定した各種訓練を関係機関と連携して実施した。

秋田県警察航空隊のヘリテレによる映像伝送訓練や各防災航空隊による空中消火訓練、近年の実災害に基づき、土砂災害孤立地域からの捜索救助訓練や地震による複合的な災害からの救助救出訓練を行った。

指揮支援隊の活動統制の下、訓練項目ごとに現地合同調整所を設置し、県内応援隊、複数の都道府県大隊、航空隊及び関係機関が連携して情報共有を図る統括的な指揮活動を実施した。

また、重機や水陸両用バギー、小型救助車等の消防庁無償使用車両の災害対応力について検証するとともに、安全管理部隊の編成や道県の救急隊で救急部隊を編成し、大規模転院搬送に対する体制を検証する訓練を実施した。

《今後の課題等》

- 大規模転院搬送事案の想定においては、各道県の救急隊による救急部隊の編成まで相当の時間がかかったため、今後も様々な訓練機会を捉え、検証していく必要があると感じた。



架柱橋を渡る緊急消防援助隊車両（3日）メイン会場



座屈倒壊建物救助救出訓練（3日）メイン会場

(4) 後方支援活動訓練

秋田市八橋運動公園において、拠点機能形成車及び支援車Ⅰ型を活用したほか、屋内施設に女性隊員専用

の宿営場所を設置し、女性隊員の宿営について実践、検証した。

また、各道県大隊長との会議においては各宿営場所が離れている想定とし、可搬型端末を使用したWeb会議システムで会議を行った。

《今後の課題等》

- 秋田県受援計画の検証や後方支援会場内でのスムーズな部隊配置を検討する貴重な機会となった。可搬型端末を使用したWeb会議においては、音声の不具合による課題を残したが、会議ツールとしてのアプリを有効活用できるよう今後も機会を捉え訓練する必要があると感じている。



後方支援活動訓練（2日）秋田市八橋運動公園

5. おわりに

今回の訓練は、消防応援活動調整本部、指揮本部及び指揮支援本部、航空指揮本部及び航空指揮支援本部の運用調整、関係機関協力の下、輸送機や輸送艦での部隊進出、関係機関と連携した合同訓練の実施、無償使用車両の活動能力検証など、能登半島地震の課題等を踏まえ、より実践的な訓練となるよう計画しました。

受援経験のない秋田県における緊急消防援助隊の受援体制や部隊運用、関係機関との連携活動等における課題が明らかとなったため、これらの課題をどう次に繋げるか、実災害への対応も含め、大変有意義な訓練であったと考えています。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、緊急消防援助隊の応援体制の更なる充実強化に努めていくとともに、秋田県の受援力を今一度検証し、受援体制の強化を図っていく所存です。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました北海道東北ブロック各道県、参加消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL：03-5253-7569（直通）